

令和5年度 第6回 牧田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年3月1日（金）14：00～15：00

2 場 所 多目的室

3 あいさつ（学校長，委員長）

<委員長>

- ・昼夜の寒暖差が大きいので体調管理に気を付けてほしい。
- ・給食で喉を詰まらせた事故が起こったが、二度と起こらない未然防止体制をとってほしい。
- ・2月26日定五郎作文授賞式があり、本校からは2人の受賞者があった。

<校長>

- ・鈴鹿市は鶉のタマゴ等未然防止のために既に使っていない。
- ・安全面については小さくして食べるように指導している。
- ・大谷グローブを授業で使っている。ほとんどの学級で実施済である。

4 協議事項

(1) 学校の様子、地域から

委員

- ・第1回の運営協議会の際に安全面でお願いした側溝の溝が、農協の付近まで蓋がしてあったが、学校からの依頼があつてのものか。
- 学校や地域からの依頼ははしているが直接工事があつた等の連絡は受けていない。学校からは東門付近の大木が、台風時に枝が折れて落下するなど危険を感じていたので要望していたところ伐採いただいた。また、鈴鹿ライオンズ倶楽部の慈善事業で、東側歩道上の樹木の選定をいただいた。

委員

- ・年間を通して防災教育は実施しているか。子どもができる防災教育をしてもらえるとありがたい
- 年間を通して計画的に実施している。学期に1回の避難訓練と年間1回の緊急時引き渡し訓練（本年度は昨年実施しなかった学年のみ）を実施した。また、全学年が避難訓練前には県発行の防災ノートで学習している。県の防災資料として動画やポータルサイト[学校防災みえ]の活用も行っている。学校では災害時に家族と落ち合う場所を決めておく携帯用カード「わたしと家族の防災カルテ」について指導している。今後も保護者や地域と連携しながら防災教育の推進を図っていきたい。

委員

- ・弓削・岡田十字路へ抜ける道をコロナ明けくらいからものすごいスピードで抜ける車が多い。何とかならないか。
- 警察にも働きかけてもらえるように伝える。

委員

- ・大谷グローブを今後どうしていくか考えていけるとよい。
- 使い古すくらいに使っていくことが大切だと考える。同封の手紙の内容も重要だと思っているので保存方法等を考えていく。

委員

- ・弁護士によるいじめ防止教室（出前授業）などで、児童の犯罪につながるような事例（下校中に敷地内の壁に落書きする等）を取り上げてもらえないか。
- 児童の指導上の案件については、地域の方から聞いたり直接指導いただいたりする数が多く助かっている。また、低学年が警察と連携した出前授業も実施したので、今後も継続していきたい。

(2) 学校関係者評価について

委員

- ・自習の見守りボランティアで、対応が難しい児童がいる。周囲の子が集中できないことがあるので、何とかならないか。
- 担任がいない中では難しいこともある。必要に応じて保護者への働きかけも行っている。今後も継続した指導や支援を行いながら改善を図っていききたい。

委員

- ・家庭教育学級はどれくらいか。SNS上での課題等もあると思うので保護者が集まる場で巻き込んでいけるとよいのではないか。
- 今年度は実施していないが、教育を語る会でSNSをテーマにした学習会は行った。児童についてのSNSについての学習は、全学年で実施して成果も出ているので、保護者にも啓発していけるような場を今後も検討していきたい。

委員

- ・学校運営協議会の活動と成果と課題の書き方について、数字的にわかる方法はあるのか。市内小学校の様子がわかるとありがたい。
- 指標を使って出している学校が多い。各学校の学校Webサイト上に学校関係者評価は掲載することになっているので、だれでも閲覧することはできる。（市教委より）

市教委より

- ・次年度に引き継ぐ内容として地域との連携を組み込んでいけるとよい。3学期に授業参観していただいてから学校運営協議会をすることは子どもの実態がわかってよい。防災についての意見もあったが、地域と連携どう取り組むのかを検討していけるとよい。